



米の輸出拡大に向けた産地会議(北海道)

2024年、米・米加工品等の輸出量は過去最高の4.6万トンを記録しました。

政府は「食料・農業・農村基本計画」において2030年に35.3万トン達成を目指しており、国内市場の動向も踏まえて、関係者が連携した海外需要に応じた取組の拡大が必要です。

本会議では、海外マーケット、輸出産地や事業者の取組、産地におけるリーダーシップなど、需要に応じた生産・販売に資する事例を紹介します。

北海道において米の生産・流通・販売に携わる皆様のご参加をお待ちしています。

2026年2月5日(木) 13:30～16:00

形式：ハイブリッド形式 (**札幌市内会場** / オンライン)

内容：講演・パネルディスカッション

申込方法：Microsoft Forms

対象者：北海道内の米関係者

議事次第

1. 米の輸出をめぐる状況 (30分) 🌾

- 米の輸出をめぐる現況、政策動向、支援施策等をご紹介 -

講演：農林水産省 農産局/経営局/輸出・国際局/北海道農政事務所
北海道 農政部 食の安全・みどりの農業推進局 食品政策課

2. 海外マーケットの現況 (15分) 🇺🇸

- ロサンゼルスにおける日常生活と米をテーマに米国から中継 -

講演：米国輸出支援プラットフォーム

3. 産地の取組事例 (45分) 🌾🌾🌾

- 輸出用米をめぐる生産、経営、需要開拓等を講演 -

講演：株式会社芦別RICE
いわみざわ農業協同組合
新篠津村農業協同組合

4. 事業者等の取組事例 (30分) 🚢

- 海外の需要開拓、販売状況等の輸出の取組をご紹介 -

講演：株式会社神明
ホクレン農業協同組合連合会

5. パネルディスカッション (30分) 👥

～ 変化する海外市場に対応するこれからのリーダーシップ ～

パネリスト：沼田 哲男【株式会社芦別RICE 取締役会長】
加藤 勉【いわみざわ農業協同組合 販売促進部門 部門長】
伊達 和哉【新篠津村農業協同組合 農産部 直販課 直販課長】
廣瀬 俊介【株式会社神明 海外事業本部 海外事業部 部長】
東川 博夫【農林水産省 北海道農政事務所 輸出対策推進官】

参加費：無料

【開催方法】

形式：札幌市内会場 又は オンライン (Microsoft Teams) の出席を選択できます。

会場：ACU-A大研修室1606 (〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45・16階)

※会場にてご出席される際は、公共交通機関をご利用ください。駐車場のご用意はございません。

※会場の定員は60名です (先着順)。定員になり次第、申込みを締め切ります。

※オンライン出席に人数制限はありません。

【参加方法】

以下のURLまたは二次元コードから申込フォームにアクセスしてお申込みください。

<https://forms.office.com/r/ETK8qJcTm9>

申込締切：2026年1月29日(木)

※お申込みによって得られた個人情報、厳重に管理し、本会議の運営に限り使用いたします。



【お問合せ先】農林水産省北海道農政事務所 生産経営産業部

TEL：011-350-7658 (生産支援課) 011-330-8810 (事業支援課)

E-mail：rice_export_hokkaido@maff.go.jp

主催：農林水産省 北海道農政事務所 後援：北海道

